


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	豊橋市家庭教育支援チーム「NPO 法人らるご子ども教育研究所」 (呼称：らるご) URL: http://www.largo-child.com
活動開始 年度	平成25年度
活動拠点	らるご総合教育スクール
活動範囲	豊橋市、豊川市、田原市、新城市 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施
組織体制	<u>13 人</u> 子育てサポーター 5人、元教員 2人、民生委員 2人、臨床心理士 2人、保育士 2人
具体的な 活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 1. セラピー事業 ① 発達支援…発達につまずきのある子どもを対象とした発達コミュニケーションプログラムを提供し、発達の向上を促進する。 ② 要保護支援…児童養護施設へセラピー(プレイセラピー、アートセラピー、ミュージックセラピー)を提供する。 2. 情操教育事業 ① ちゃいるどリトミック支援…就園前の親子を対象にリトミックなどを提供し、親子の健全育成を図る。 ② 母親の精神的サポート支援…母親の育児の癒しやリフレッシュにつながるイベントを開催する。 3. 講習・講演会事業 ① 家庭教育講座(親力 up トレーニング講座)…子どもの心身発達に関する勉強会を開催する。 ② 発達勉強会 …発達に課題を持つ子育て中の親へ向けたペアレントトレーニングを実施する。



らるご子ども教育研究所は、豊橋市を中心に、東三河で「子どもの育ち、親の育ち、親子関係の育成」をテーマにリトミック・音楽療法のご提供、家庭教育講座やお母さん向けイベントなどを開催する、非営利活動法人です。

子どもは、大事な命を頂きうまれ、愛され育つ権利があります。どの子にも、どの家庭にも「ほがらか」な笑顔がありますようにと、日々願っています。

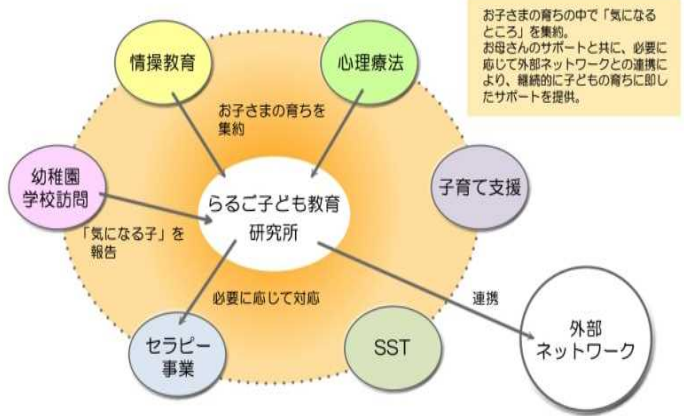
子どもは愛されるために生まれてきます。「愛」を肌で感じた子どもたちは、心が強たされ、人に対する愛情を深めていくことができます。そして、「愛情」をたくさんもらった子どもたちは、他者に対する思いやりだけでなく、知的な働きも活発になります。心に迷いがなければ、思いっきり「学ぶ」意欲が育つのです。

「知的にも「情」的にも開花され、「意欲」あふれる子どもたちの育成のため、子ども教育を日々研究しています。

子どもを取り巻く状況には、多種多様なニーズがあり環境も刻々と変化をきています。どの子にも豊かな人生が歩めるように、地域に足りないものは、みんなで知恵を出し合って作っていききたいと思います。

豊かで運しく人生を生きていける子どもたちを応援していきたいと思っています。それが、らるごのコンセプトにつながってきています。らるごに出逢えてよかった、と言ってもらえる素敵な活動展開をしていきたいと思っています。

らるご子ども教育研究所 代表 池田 信子



活動の成果

発達支援(発達に課題を持つ子どもに対する療育支援)に関しての取組は、一定の成果は出ている。例えば、愛知県東三河では、特別支援枠の子どもたちの野外活動参加が皆無であったが、活動を始めて5年が経ち、周知されてきていることが、参加者の半数以上がリピーターであることからわかる。積み重ねていくことで、地域にいる発達支援の必要な子どもたちにとっての定期的な療育環境になっている。

子どもの育ちに関する専門的知識を持ち、家庭教育支援できる人材の育成の為、法人設立当初より「家庭教育カウンセラー養成講座」を開催している。受講者が「家庭支援士」として認定を受けた者が、各地域で講座や子育て支援、家族支援を行っている。

活動において苦労した点や課題

会としての一番の課題は、会の収益につながることの難しさである。受益者負担は重要であると考えられる。そこには、支援を受ける側の成長も含まれており、受益的なシステムは、社会との繋がりに値する。ただ、会を運営する金額設定などは今後検討が必要である。会に携わってくれる方(スタッフ)には、報酬を出したいが財源が潤沢ではなく、行政からの委託事業が希望だが豊橋市では現在は厳しいようであり、会としても収益事業を拡大中である。

新城市には、事業を提案し採択され、4年間「家庭教育講座」の委託事業を行っている。その活動は、研究記録として各学会に提出し検証をしている(会代表池田が、日本保育学会、日本家庭教育学会などで研究発表を行っている。日本家庭教育学会の常任理事でもある)。その検証されたものは毎回行政には提出している。

	<p>中核市であり、中心の大きな市である豊橋では、子育て支援に関する多くの団体があり、文部科学省認定があっても現在は密に連携をとる関係ではないが、各講座の後援という協力を頂き活動に反映している。しかし、運営上の金銭面の課題は続いている。</p> <p>親子の健全育成に関しては、地域での行政主体の無料の講座が増え(特に豊橋市)、その事業と、専門的支援である本会の事業の差別化が難しい(課題)。無料の講座で受講する人数が増えるのはとても良いことである。しかし、子育て中の保護者の養育力の向上につながっているかは不明である。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>今後は、発達課題を持つ子自体が、サポーターになっていけるような取組をしていきたいと考えている。</p> <p>昨今の子育て環境の悪化の改善には、「家庭教育」を主軸とした子育て支援が有効である。地域の子育て力の低下、親子の関係の希薄、養育力の低下は顕著であり、有効な手立てで、地域の子どもの育ちに反映していける働きをしていきたいと考えている。「家庭教育」を根幹とした子育て支援の提供を今後も続けていく為には、検証された実践を産官学と取り組んでいけることを期待する。また、子どもの育ちに関する専門的知識を持ち「家庭教育」に関する講座を展開できる人材の育成も喫緊の課題である。養成講座にも力を入れていきたい。</p> <p>母親のみならず、養育・療育に関し、父親の講座参加率も増加している。父親が、母親・子どもへの関わりに関心をもっていることから、「家庭教育講座～父親の講座～」の開催を増やしていきたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(代表者氏名) 神谷 真理子 (住所) 〒441-8151 豊橋市曙町松並210-1 (TEL) 0532-66-1660 (E-mail) info@largo-child.com</p>